十二日夕刊

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料　二行五十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

賜餐の光榮に浴す
濱三郡で八百名

來る十六日に平町で

服裝の注意數々

御大典に際し濱三郡に於て賜饌光榮を賜る約八百名は十六日平町元郡會議室に於て夫れ〳〵光榮に浴すことゝなり當局では準備を急いでゐるが賜饌に召さるゝ人々の服裝につきては男子はフロック、モーニングまたは紋付羽織袴にして帽子は山高、ネクタイはフロックやモーニングに白を用ふる方があるが今度はそれは間違ひとなり縞物でも模樣のでもよろしい、ズボンは縞ズボンで靴は黑靴でなければならず、なるべくなら黑編上げだが短靴でも差支ひはなく和服紋付の羽織着物に袴を着けて山高を頂き草履といふのが規定でありこれだけの事を心得て服裝を間違へぬやうにしたいものであるそれでもう一つは場合が場合であるから清潔を第一とし新清なものを選ぶべきであると

平町外八ケ村 坪刈品評會

神谷分場で審査

平町外八ケ村聯合米穀坪刈增收品評會は過般各町村に於て擧行されたが、十二日午前十時より農事試驗場神谷分場にて出品三十餘點に就き同分場稻田、小塙兩技師審査をなすと

十日の夜に引續き
平町昨夜の賑ひ

各種團体の提灯行列で

提灯の波に埋る

平驛從業員八百餘名の奉祝提灯行列は十一日午後六時平同驛貨物取扱所廣場に集合し縣社子鍬倉神社に一同參拜の上音樂及救護班が搭乘した花自動車を先頭に驛機關庫、檢車所、車掌、保儉區の各班と平運送業荷扱から六十餘をしんかりに何れも同驛神山檢車場主任の作曲に成る奉祝行進歌を高唱しつゝ全町を練り午後八時鐵道俱樂部前で一同萬歲を三唱して散解したがその他の各種團体の提灯行列で十一日夜の平町は十日夜にも劣らず非常な盛況を見せた

奉祝歌

石黑　一郎

國民のあげてことほぐ此
の秋、空も青きに晴れた
行けかし
奉祝の氣のみなぎれる海
内のはらからは此日喜ば
しき秋
嬉しさのたゞみち〳〵て
奉祝のみ旗買へたり此の
秋にして
田舍屋の伏屋に居れる此
のわれも心からなる奉祝
の歌
此の秋は四方に輝くすめ
らぎの御大典に國のこと
ほげる時
きらびやかにかざられ
行く彩色わたる奉祝の言
葉のみなり
ペンキヤの軒から出でゝ
奉祝わくれないに又白に
ろどる
見ろいろいかに廣きも
れない目に飾る奉
祝の色
奉祝の色わいや濃く到無
に競うて飾る服に夕べに
天日影わ
きらびやかに飾りし町も
軒をなべて住む長屋の
奥にも
そのゆたけき光は照すな
り
われ今日のよき日
郊外の果て
見渡すかぎり伏屋にも
さんとして輝
日のみ旗を見よ
老眼に嬉し涙を浮べて
聖壽をことほぐ老媼のあ
るを
われ等民人少なけれども
新帝を迎へ
其の光榮に赤き血潮は赤
誠に
其の雄姿……頬るとして
太陽の如く輝きたり
身は細く玉顏拜し得まさ
ねど
あまねき光あびて居りわ
れ
君を祝ぐ言葉だに持ち
得まさねど
赤誠込めし此の喜びぞ
めでたしき國統べ給ふ新帝
の御位につく今日の喜び
萬歲の聲も全土浦々を
滿ち渡りけり今日のよき
日よ
大御典ことほぎまつる聲
高く
今日のよき日を祝ふ人々

御大典記念 事業協議

教育會總會

既報の如く第十五回石城郡東部聯合教育部會は十一日午前九時より平第二小學校内に開催されたが出席者頗る多く定刻開會の辭に次で御大禮記念として同會員中二十五ケ年勤續者として昨報の三名の表彰を行ひ次で協議に入り

一、御大禮記念事業決定の件
二、來年度春季總會場決定の件

其他數項を附議し午後一時終了し第一小學校菊地訓導の新國民運動と題する意見の發表あり次で横濱高校教授水野常吉氏は昭和教育の新目標の題下に亘る二時間餘の講演あつて午後四時閉會した

平驛の乘降客
平常の約二倍

十日の人出五萬人

自動車も大繁昌

御大典奉祝の喜びに浸り切つた十日、十一日に於ける平町の人出は無慮五萬餘に達し未曾有の盛觀を呈したが平驛二日間の乘降客は十日ノ乘客三千四百十三人、降客三千百四十四人、十一日乘客三千三百十七人、降客三千七百七十五人平日の約二倍ではあるが豫想外僅少で此れは湯本、四倉等は勿論附近町村からは乘合自動車を利用してゐるから平自動車營業者の利得は莫大なものであらうと言はれてゐる

御大典に

神職表彰

本郡で五名

御即位の御大禮を迎へ奉つた福島縣神職會では既報の如く神祇の興隆風教の刷新に留意し多年精勵斯道の發貢獻せる神職功勞者並に敬神の念篤く神祇の興隆と共に地方風教に功績顯著なる氏子總代功勞者及篤志者の表章をなし今回本郡に於ける光榮の表章者は左記の如くである

▲石城郡赤井村諏訪神社佐藤百技▲湯本町溫泉神社佐波古直元▲永戸村水井神社佐藤喜永▲平町飯野八幡神社飯野淡衞▲神谷村立鉾鹿島神社位藤久吾

賜饌場委員協議

けふ平町役場に於て

設備其他に關し

濱三郡賜饌場は平町磐城中學校と決定したが平賜饌場委員伏見町長、唐土磐中校長、猪狩署長は今十二日平町役場町長室に會同し賜饌場設備其の他に關し愼重な協議をなした

家庭蔬菜園

錦青年の活動

石城郡錦青年團では土地の集約利用により僅少の畑にて蔬菜の自給を圖るべく計畫し今回浦和農事試驗場園藝部で經營してゐる家庭蔬菜園を實行すべく詳細なる說明表を配付したが、これは五人から七人位の家族用に設計したもので耕作地が一、九五アール、道路が〇、三四アール、合計二、三アール即ち約二畝歩にて一年に五十三種の作物が作られ熱心連作することなしに毎年毎日青物を絶ゆ間なく食膳に供する得らる頗る簡法最も經濟的に考案されたものである

秋刀魚群

空しく歸港

姿を見せぬ

縣水產試驗場の磐城丸は去る五日から七日まで本縣沖合から宮城岩手方面まで約三十カイリ乃至九十カイリの海區を調査したが魚群姿を見せず七日夕空しく小名濱へ歸港した

農產品評會

永戸組合村で

永戸箕輪組合村では來る十八日午前十時から永戸村小學校に於て秋作農產物の品評會を開催するが出品點數約五百點大山技師審査の上十九日同校に褒賞授與式を擧行すると

奉祝演藝大會

福島民友新聞社主催御大典奉祝縣下演藝大會は十五日午後四時より平町平劇場に於て開催すると

講談

幕末秘帖 狂怒乱心 (88)

渡邊默禪作
宮野歌春畫

「さて方今の時節は其許も知らる通り、京都方と關東方との確執或は勤王といひ或は佐幕と申し、議論紛々として決する所なき有樣ぢや、かゝるが故に天下二百七十三藩、いづれも嚮背に迷つて朝には是、夕には非、恰どはねつるべなどのやうに上つたと思へば下り下つたと見れば上る有樣、諸侯ですら斯く動搖いたし居る程ぢやから、まして其の臣下、又たは浪士の輩などは恰んど闇汁同樣、黑白混淆ぢや、いづれが正かいづれが邪か誰が賢か不肖か何人が忠か奸か一見に見分がつかず公けの憤りを假つて私の怨をむくい大義に托して利を射ようとする曲者も大分ある肚の黑い奴は乘じて事を成し易く潔白の士といへども一歩を誤れば落穴にかゝる、餘程心を締め眼を明かにせんければ主家を危し一身をうしなふことになる、其許なども此邊の事情を篤と心得て、進退せぬと折角の義も忠も大骨、後世末代の笑ひ物に相成り申すぞ」

諄々として諭す言は針梅は默して恩を吞んだ

「恐なりと雖も高橋伊勢守ぢや、代々の雨露の惠天地にも捜へ難い主君の恩誼を仇といたして、二心を拘くなどゝは、サテ、ハヤ、奇怪千萬の申分、狐疑も茲に至つては寧ろ滑稽、ハツハツハ、た可笑しうござるわ」

と哄笑をして

「ソリャ武程、勤王の志を拘く浪士等とは平生極めて昵懇に往來をいたし居る。議論も聞けば聞かせることもある、槍の稽古の相手をいたす場合もあり、酒を酌み肉を屠る折もないではないさりながら其等の徒と親しくいたしたからと申して幕府に敵挾むものとは言はれまい、いかに詭激の暴言を吐く者があらうとも、それは其の人の精神、伊勢の精神ではない、イヤ伊勢の精神は別に罷り在る、染むれどもしせず燐すれども磨せぬ雪の如き一團の魂は」

と丁と胸を叩いて

「見い、確かに此處にあるぞッ」と叫ぶ

梅は輝く眼に、凝然とその面を視上げた

「まして勤王の說を唱へるやからからと申して悉く幕府の仇敵ぢやとは言はれぬ國を憂ひ主を思ふ心は一つ只途を異にし手段を別にするだけ、で、その赤誠に差別はない筈、イヤ勤王攘夷を口にする人の中にもまこと將軍家を守護して政治的の改革京都方との和睦公武合體の上に皇國の泰平をと望む者も少くはないとも辨へずして一樣に敵視するはコリヤ枯尾花も幽靈、臆病者の業す業ぢや、世の諺に他山の石以て玉をみがくべしと申すことがある、己れの敵も味方も一つの袋に入れ、清濁併せ吞んでその言を究め勢を審かにし、而して後己れの非をため正しきに復り天下萬民を悅服せしむる程の度量がなければ役人も駄目ぢや、武士も駄目ぢや、伊勢の心事はかくの通り、此處に居らるゝ正明殿さても[illegible]精神に異りはあるまい、のう正明氏」と八郎の方を看る

梅の背後に蹐んでその說論振に感心したかの如く耳をたてつゝ微笑を含んで聞いてゐた八郎は。

池之坊生花
吉田廉月社中陳列會
十一月十六日マデ　於新館

三井吳服店

高久病院

最中で評判の泉屋に
喫茶部が出來ました
御大典を謹むでお祝致しませう
そして此の御大典を記念する爲め
「泉屋の喫茶」を初めました
開店披露の爲め半額
十一日より十七日迄一週間
泉屋菓子店喫茶部
平町五丁目（電六六八）

奉祝御大典記念特別大興行
維新の京洛　全廿卷
全部上映
日活御大典記念映畫　池田富保監督作品
山本嘉一　河部五郎　大河内傳次郎　酒井米子　外日活全員總出演

當ル九日ヨリ上映
◎松竹キネマ特作
海の勇者
原作　菊池寛
監督　島津保次郎
主演　鈴木傳明
助演　松井千枝子

謹寫　御即位式　實況第一報

特別興行に付料金値上

	大	小
特	六〇	三〇
壹	五〇	二〇
貳	四〇	一〇

平館

十日ヨリ六日間晝夜公開

內科、小兒科（院長每日診療）
院長　醫學博士　難波睦
副院長　醫學士　五十嵐雄次
內科長　醫學士　伊吹彪二
外科一般
外科部長　醫學士　氏家憲介
每日曜手術　醫學博士　鈴木退輔
產婦人科、女子泌尿科
產婦人科部長　醫學士　五十嵐雄二
顧問　醫學博士　川添正道
本院醫務法制囑託　法學士　岡蕃
本院主事　賀澤忠治
電話七二番
最新X光線新設
獨逸シーメンス、ユニバーサル、ヘリオドル
主任　醫學博士　難波睦
入院自炊ノ便アリ
看護婦募集
磐城共濟病院
平町　電話六四一番

改正　片濱乘合自動車時間表

平發	江名發
五時三十分	五時三十分
六時三十分	七時
八時	七時五十分
九時	九時二十分
十時	十時三十分
十一時	十一時五十分
十二時二十分	一時
一時五十分	二時
三時	三時三十分
四時	四時四十分
五時二十分	五時四十分
六時三十分	六時四十分

平のりば　四丁目　和泉屋前
新川町　車庫
江名のりば　沖見屋　電話十四番
松屋
鈴木片濱自動車部
電話二一七
車庫呼出　電話一四二

食用鳩（カルノー、ホワイトキング、シルバーキング）
ブリユウセキセイ　オカメインコ
アカボタンインコ　カルカヤインコ
ダルマインコ　小紋鳥
一紅鳥　錦花鳥
白文鳥　白十姉妹
背ノコリ　小[illegible]
平町田町本通り
ベニヤ小鳥店

レコードハ此のマーク！を
肉聲のビクターレコード
販賣店　會田時計店
平町四丁目（電話三六二番）
店員募集

夜間診療
胃腸　內科　十二指腸虫病　專門　內科部
梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部
平町南町　松村病院　電話七〇

平常の十倍に達した 御大典記念貯金

十日の取扱一萬四千圓

平局豫想好績

平郵便局では既報の如く十日の御大典當日は休日を廢して特に記念貯金の取扱をなしたが當日一日に於ける記念貯金は四千口此れが金額實に一萬四千餘圓と言ふ巨額に達し平日の約十倍を數へたが此れは地方に於ける貯金思想の普及された事を充分に裏書きするもので御大典を奉祝するに當つては地方民が從來のお祭氣分のみではなく貯金の如く將來の爲めにせんとして眞面目に考へる樣になつた結果からで此の莫大な記念貯金の取扱に同局では田村局長以下全局員が總動員で活動したが當日だけでは取扱ひ切れず昨十一日は日曜であるのにも拘はらず全局員殘務の整理に努める等未曾有の大多忙振りを現出し尚ほ去月中から同局で取扱中の保險郵便年金等の御大典記念募集の如きも非常な好成績で殊に簡易保險は約千口の記念扱で仙臺遞信局管下たる東北六縣中第三位を占めてゐる

石城郡下の 農村況

近く收穫ずみ

平町地方の各農村では早きは既に稻の刈入れを了し遲きも大半收納ずみとなり目下は三耗作の作付並に麥蒔き等に多忙を極めてゐるが本年は案ぜられた早寒も比較的大害なく此の分で行くときは殘る二十日頃までは一作の作業を終了する見込である而して紫雲英草は播種後天候比較的順調の爲め發育もよく一般農村民は稍々安堵してゐる

川前溪谷を開拓し 國立の遊園地

四季を通ずる樂天地に

平町有志の輿論

平町の消長は常磐各炭礦の盛衰に左右されるため數年間炭界の不振は平町に大打擊を與へ炭礦目當の商店等は辛うじて營業を繼續し炭礦の復活に一縷の望みを繫いで居ると云ふ狀態であるが中には炭礦の回復を待ち切れず店を閉づると云ふ者もあり一方勞働者の方面でも同樣な有樣で他に移轉するものがあつて漸次空家の札が增加して行きつゝあり赤井嶽の身に泌みるこの頃に特に目立つて來たこれがため平町有志間には町の發展上由々しき問題であるとして目下これが對策について考究してゐるが何處も同じ不景氣で之はと取立てる程の名案も浮かばず困り拔いた揚句が石城耶馬溪の稱ある川前溪谷を平町に結び付けるといふ一案を案出し、同所は自然の奇勝秋は紅葉、春夏は綠林、夏なほ涼しいといふ避暑地にも適し冬は比較的暖かく枯葉の散つた跡、奇岸巍峨としてそびえ青松に白雪のかゝりたる趣きまたいふべくもあらずといふ四季を通じ天惠を得て居るので同所を平町の効外遊園地とし適當なる方法を講じ廣く縣外に紹介するに於ては將來平町に取り直接にも間接にも影響するところ相當大なるものがあるから同溪谷を充分活用すべきであると盛んに論議されて來たから町民の輿論如何に依つてはその實現に大なる困難がないものと觀測される

御即位式の今昔

（上）

西岡虎之助

平安時代は、御即位式最も盛んな時代である。奈良朝のは著るしく異國風を帶びたものだつたが、平安時代になると、それが日本的のものとなり優美なうちに、莊重極まりなきものとなつた。

御即位の御式場は、奈良時代と同樣に大體に於て大極殿を用ゐさせられ、少數の例ではあるが紫宸殿若くは太政官廳で行はれたこともある。

而して平安朝時代の儀式は何事も多くの場合、後世の模範となつた如く御即位式も亦後世の準標となつた。併し乍ら、毎に正しく、そのまゝ踏襲せられた譯ではなく、時の事情によつて著るしく改變を加へられた。次に述べる武家時代の御即位式の如きは、即ちそれである。

一口に武家時代と云ふがこの期間は隨分長い。で之を便宜上三期に分けて見ると、鎌倉時代から室町時代の中葉までが第一期、室町時代の中葉から豐臣時代までが第二期、德川時代が第三期といふことになる。而も三期を通じて武家が跋扈してゐた時代であるだけ朝廷は御衰微の形であり隨つて御即位式の如きも長い多いことではあるが甚だ振はなかつた。

以下この振はなかつた當時の御即位式の有樣について（一）御儀式奉仕の朝臣に眞心が缺けてゐたこと（二）御用途が不如意勝ちなりしこと（三）御式場のこと（四）御儀式に違例の多かつたこと等の項目の下に簡單に述べてみやう。

朝臣に勤仕・眞心がなくなつたことは平安朝の末期朝家の威令行はれざると共に、次第にその弊・極めて行つたのであるが、その結果武家時代に入つてからは新帝御即位の大禮も表面上丈けは平安朝時代であるがその精神は全く無視されて形式的虛禮に流れるやうになり朝臣はイヤ〳〵乍ら職務として止むなく勤仕するものばかり平安朝盛時に見る如き心から此の御大禮を禮讃し奉祝する風は少しも認めることが出來なくなつた「伏見院御記」に依ば弘安十一年、伏見天皇・御即位禮の際には親王、大將、侍從等が各自禮服なきことを口實として當日の儀禮官たることを忌避したとある。

御即位費の不足勝ちであつたことは、之をもろ〳〵の舊記について知ることが容易に出來る。「玉葉」には元暦元年、後鳥羽天皇の御時、費用乏しきため止むなく御即位禮が延引されたことを傳へて居り「明月記」には建久九年土御門天皇の御時にも同樣の御狀態であつたことを記してある。尤この時分には朝廷の經濟が常に不如意のところから、平安朝末期の如く、成功、重任などの名目の下に實は官職を賣つてそれで御即位禮の費用を支辦するのを例として居られたがそれさへが意の如く行はれなかつたのである。

鎌倉時代は、それでも未だよいとして、南北朝時代となると戰亂が打ち續き、皇室の御衰微が益々甚だしくなつたところから、專ら武家に命じて御即位費を獻上せしめられたが肝腎のその武家自身が財政困難に惱まされ通して居たので迚も十分な御用途を獻ることが出來なかつた。（つゞく）

酌婦一人の梅毒が 八十三名に感染

南町安積屋の酌婦

平署取調べ終了

去る九月一日から實施された新法花柳病豫防法の本縣に於ける最初の犯罪として各方面から注目されてゐた平町南町飲食店安積屋事柳田クサ方百百子事沼津フミ（二〇）が去月廿八日平署の手に檢擧されて以來片寄警部補主任となつて嚴重取調を進めた結果此の程一切の取調完了したので十二日送檢した、取調の結果同人は今春五月頃客から梅毒を感染し其の後三業組合治療所に入院加療してゐたが全治しないに拘はらず客席に侍べり又々强度、梅毒に感染したが素知らぬ顏で引續き去る九月廿六日から檢擧された十月廿八日まで廿九日間に亘り客に接すること百數十回に達し同人から此の强惡性の梅毒を感染したものは平町字鎌田町佐藤義吉（假名二五）外八十二名と言ふ驚異すべき數字を示してゐる

黑鞘組の 首魁捕る

入山の不良團

東京府下南葛飾郡水元村當時石城郡湯本町入山炭坑長屋山本某方同居人黑澤榮弟登（二三）は去る九日午後十一時ごろ同町字天王崎理髮業岩崎眞一方に忍び込み金側懷中時計價格四十五圓を竊取したこと平署員に探知され十日逮捕され取調中のところ同人は子分十數名を擁して東京市內を荒し廻つてゐる黑鞘組の團長で之まで數回竊盜等で檢擧された札つきの不良少年であること判明したが一見大家の子弟の如く見ゆるところから今樣殿樣銀次のニックネームを持つてゐる

提灯や國旗を 持ち去る者

各町內で警戒

平町全町は毎夜奉祝提灯を軒頭に掲げ大いに夜の街を賑はしてゐるが深夜に至り何者かが此の提灯や小國旗を持ち去るものあり各町內とも係員を常置して警戒さしてゐる有樣然かも此の目出度き催しに際し故意か惡戯か斯かる行爲をなすものは用捨なく檢擧すべく平署でも警戒を怠らず取締りを勵行してゐる

平町には既に 國旗賣切れ

國民奉祝　赤誠

平町は御大典　奉祝氣分にひたり上下を擧げて歡聲に滿ち〳〵てゐるが從來國旗の持ち合せのない家庭も今度と云ふ今度こそは自發的に國旗のけいようを志さし吾れも〳〵と競つて國旗を購求したので平町の國旗店は殆ど品切れとなり地方町から態々買ひに來た人々は空手で歸る有樣で淚ぐましきまで國民の奉祝の念は徹底してゐる

御大典に前後して 酒の移入增加

木炭木材で賑ふ

平驛の去月成績

平驛貨物取扱所に於ける去月中の貨物取扱高は發送小口扱九百二噸特別扱二十一噸貨切四千四百七十噸合計五千三百九十三噸到着小口扱九百九十八噸特別扱百四十六噸貨切扱一萬三千三百四十四噸で此れを前年度に比較すると可成の增加を示して居る取扱貨物の重なるものは發送の中木材二百八十七噸、木炭百五十噸等であるが梨柿等の果物類百五十噸は意想外の大激增で當地方産　梨柿等が東京其の他各方面に可成の聲價をあげてゐる事が肯かれる更らに到着は依然として石炭が首位で一萬九十九噸に達してゐるが米二百六十六噸木材二百二十五噸肥料百四噸は大差ないが清酒の到着四十三噸、殆んど平月の二倍に達してゐるが此れは御大典を見込んでの仕入であらうと見られる

『磐城高風錄』近日配本

郡下著名の百名士略傳

意義ある本社の記念出版

本社が意義ある、御大典記念事業として曩きに計劃發表せる石城郡下著名の士、百名を網羅せる記念出版の事業は其後順調に進行し來る二十日頃配本の手筈に確定いたしました、題名を『磐城高風錄』となし東京神田猿樂町三共印刷株式會社の手に依て目下印刷製本中であります裝幀は菊版總クロース背表金文字打込の箱入れ印刷製本とも最も入念に極めて高尙優美なるもので飽くまで各位の御期待に叛かざるの確信を持つてをります、何卒配本の日を御待ち下さる樣豫め御知らせ申上ます。

磐城新聞社

減刑の恩命に浴した 平の七十四人

復權は約百名に上る

平裁判所の調べ

平刑務所に於ける今回の御大典に際し減刑の恩命に浴したもの〻數を聞くと同所に於ける現在の受刑者三名刑事被告人四名、計七名收容中であるが恩典に浴すものは前記の受刑者三名で傷害罪の二名は二ケ月竊盜罪一名は三ケ月を何れも減刑され之と同時に平區裁判所管內に於ける執行猶豫中のものは三十六名執行猶豫前の者三十名執行猶豫の者五名刑の免除を受け復權した者は百名以上に上る見込みである

醉はされ藝者 社前で卒倒

參拜中の騷ぎ

平町藝妓置屋組合では十日御大典當日百卅餘名の藝妓及び組合員が午前二時から縣社子鍬倉神社に參拜したがその際福淸と板橋淸吉方抱藝妓千葉縣流山町生れ玉香こと小野田すみ（二三）が卒倒したので大騷ぎとなり應急手當の結果蘇生したが同人は前日は朝から御座敷に招ばれてしたゝか酒を呷り時刻に遲れるのでと馳付けた爲腦震盪を起したものと判明

記者募集

年齡二十才以上、中學三年修業程度以上の學力あり新聞に趣味を有する身体强堅の者一名優遇採用す。希望者は履歷書携帶本人午前中に來社あれ委細面談

磐城新聞社

枕探しは 女中に疑ひ

平署で內偵中

石城郡泉村字川部生れ當時平町田町某旅館女中佐藤きよ（一八）は十二日午前三時頃投宿客東京市本所區外手町寫眞器紙業福島正の寢室に忍び込み同人が枕元に置いた財布から金五圓を拔き取つたを福島の宿料を支拂ふとき發見平署に屆け出たので係官が同家に至り取調べたところきよの擧動が怪しいので本署に連行嚴重取調べたところ同人の所爲たること判明したが同人は同樣手段でこれまでも竊盜働いてゐた形跡があるので引續き取調中

第二回 スポンヂ 野球大會

十四、十八の兩日平町に

組合せも決定

平野球聯盟主催第二回石城スポンヂ野球大會は來る十四日及十八日の兩日平町磐中、平第一校兩グラウンドに於いて開催される事既報の如くであるが十一の締切日までの出場申込チームは二十三組に達し本郡野球界創始以來の最大盛會を豫想されてゐるが今十二日平町大塚運動具店に於いて各チーム主將立會の上抽籤の結果組合せは次の如く決定した

△第一回戰A（磐中）
平商業對高坂クラブ
北辰對高寮
田町對鐵道
磐炭綴對內郷
B（磐中）
白水對秋月
宮對平第一
平驛對高月
みち對二葉
C（平第二）
揚土對平第二
入山對遞友
南町對入山天狗
平機關庫對一、二の勝者

尙試合開始は午前八時からで第一、二回戰は五四ゲーム三回戰後は十八日午前八時から磐中グラウンドに於いて擧行の筈である

かみそり

新田町でも御大典のお祝ひ期間中に用ゆる目出度いた座敷でも稽古して鳴物入りで賑やかにお祝ひ申上げるやうな心掛ある藝者が一人もゐないとは情ない、一體姐さんとか言はれる連中はどうしてるんだ、これぢや平の花柳界も段々墮落すると言はれるのも無理はない

◆藝者だつて日本人ぢやないか、この擧國一致のお祝ひに何も出來ないようなら日本人を廢業しろ、チト目をあいて世間を見るんだねナンダ窓をあけて何を眺めてるんだ、ナニツ世間を見てるんだつてバカだナ。

店員募集

今回平町を中心に仙臺、助川方面え販路擴張の爲め平町の左記に出張所を開設し同時に左の資格を以て店員三名を至急募集いたします、希望者は御來談を乞ふ

一、經驗の有無を問はず
二、年齡廿歲以上の男子（但し保證人を要す）
三、身体强堅にして眞面目なる者

吳服問屋　**島一商店**
本店　埼玉縣入間郡所澤
出張所　平町新川町六（本島綿店）

金光堂の當選發表

十日嚴正に執行

弊店が御大典を記念する爲めに一は平素の御愛顧に酬ゆる爲め福引抽籤附大賣出し開期中は絕大なる御最負を蒙り豫想以上の成績を以て九日一切を締切り十日磐城新聞社に於て嚴正公平なる抽籤法により執行の結果左の如く當選いたしました、當選者發表に併せ畧儀紙上を以て御禮申上ます。

當選者氏名

△一等勸業拾圓債券四本　四四平驛新妻武美樣　九四赤井村菅野惠造樣　一六平潟町小野はる樣　一六九手綱町殿塚錦雄樣
△二等復興五圓債券八本　七仲間町志賀金平樣　四七仲間町高安竹松樣　八五赤井村柴崎常吉樣　九二福島炭礦菅野惠造樣　一〇四胡摩澤坤長倉樣　一三八平潟町鈴木クラ樣　五一胡麻澤柴田道太郎樣・一五八鎌田町篠崎庄茂樣
△三等精工舍製置時計二十本　八白銀町田邊米吉樣　一一北白銀町及川榮次樣　二二平檢車所須藤力彌樣　三三同上矢野金衛樣　四二平驛中根秀四郎樣　五四內郷村吉田眞孫　六一飯野村加藤文次郎樣　六八四丁目春野浦治樣　八六湯本町小島忠次郎樣　九八泉村多田政巳樣　一二一平潟町小野はる樣　一三〇五丁目片寄眞平樣　一四三平潟町鈴木クラ樣　一四六鎌田町金成桂一樣　一四九鎌田町長谷川クメ樣　一五九谷村馬上新平樣　一七六助川小沼庄市樣　一八六同上鈴木治郎吉樣
△四等上等メリンス風呂敷　氏名省畧

金光堂時計店
平町五丁目

入院隨意（自炊の便あり）
X光線科
外科專門
平町南町
上田外科醫院
電話一二九

營業種目
內地材
材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部
米松、米杉、大角製材調達
請負其他
佐藤材木店
常磐線平町新川町
電話三三五番